

学習状況診断票(社会) 小学校 第6学年
6年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点		
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解
日本の歴史	1	1	1	古墳づくりの様子から、古墳を築くためには、すぐれた技術者を指図し、多くの人を働かせることができた人物がいたことを読み取ることができる。			
		2	2	大和朝廷ということばと、それが大和地方の有力な豪族たちがつくった政府であることについて理解している。			
	2	1	3	聖徳太子によって、遣隋使として小野妹子らが送られたことについて理解している。			
		2	4	人々の負担と国づくりの内容の資料から、大化の改新において整えられたしくみであることを読み取ることができる。			
		3	5	聖武天皇が奈良の東大寺に大仏を建てたことについて理解している。			
		4	6	大仏づくりに全国から物資や多くの人が集められたことをもとに、大仏づくりが天皇の命令を受け全国の人々の力を結集させて行われたことを考えることができる。			
		5	7	各時代を代表する人物やその業績、社会の様子や変化などを手がかりとして、時代の大きな流れを考えることができる。			
	3	1	8	幕府が開かれた鎌倉のおおよその位置を、日本地図の上で示すことができる。			
		2	9	幕府(将軍)が武士(家来)に領地の所有を認め、手柄に応じて新たな領地を与えたことに対して、御家人は幕府のために働くという土地を仲立ちにした「ご恩」と「奉公」という関係で幕府(将軍)と武士(家来)は結び付いていたことを、図をもとに考えることができる。			
		3	10	雪舟がすみ絵を大成させたことについて理解している。			
	4	1	11	織田信長が鉄砲を大量に使用するという新しい戦法を用いて、全国統一に大きく近付いたことについて理解している。			
		2	12	年表を使って、歴史上のできごととできごとの間の時間を求めることができる。			
		3	13	豊臣秀吉が刀狩を行った理由について、資料にある命令の内容をもとにして考えることができる。			
	5	1	14	3代将軍徳川家光の祖父は、徳川家康であることについて理解している。			
		2	15	徳川家光が大名を従えるためにどんな工夫をしたのかを、3つの資料を関連付けて考え、キーワードを用いて自分の考えをまとめることができる。			
	6	1	16	年表を使っていつの時代のできごとなのかを調べたり、時間の経過でできごとを整理したりすることができる。			
		2	17	条約改正における小村寿太郎の果たした役割について理解している。			
		3	18	大日本帝国憲法は、天皇の権力の強い憲法であったことを手がかりとして、資料が示している内容を正しく読み取り、適切な資料を選択することができる。			
		4	19	明治維新に活躍した人物の人間関係を、キーワードや矢印を活用して適切に表現することができる。			
		5	20	明治政府による諸改革の目的を、2つの資料を総合して考え、キーワードを用いて自分の考えをまとめることができる。			
					/6	/7	/7

今後の学習に向けて 自分がかんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「思考・判断」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜそのできごとはおきたのか」、「そのできごとがおきた時代はどんな様子だったのか」、「おこした人はどんな人だったのか」、「そのできごとや人物が、当時の社会をどのように変化させたのか」などに常に注意しながら考えるようにしましょう。 ・調べたことだけでなく、考えたことをノートに書いたり、時代と時代を比べて分かったことを自分のことばでまとめたりしてみましょう。 ・家庭においては、学習した人物について自分はどう思っているのか考え、家の人と話し合ってみましょう。
「観察・資料活用・表現」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> ・絵資料などを活用するときは、「タイトルから分かることは何か」、「絵は何を表しているか」、「絵の説明やほかの資料から考えられることは何か」などに注意しましょう。文章資料は、大事なことばに線を引くなど工夫して読むようにしましょう。 ・調べたことや考えたことが、友だちによく伝わるよう、図や表を使ったり、線で関係を表現したりするなどの工夫をしましょう。 ・家庭においては、自分で年表をつかって人物のおこなったことやできごとの順番をまとめたり、できごとの関係やその時代のようにすを図に表したりしましょう。
「知識・理解」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことは辞書などで調べましょう。いつ起きたのか、どこで起きたのかを、年表や地図でいつも調べて確かめるようにしましょう。 ・調べて分かった歴史用語は、それを使って話したり書いたりして、くり返し使うようにしましょう。 ・家庭においては、学習後、疑問に思ったことについて、地域の図書館や施設、インターネットなどを活用して、自分から進んで調べましょう。